

- *****
- A. 日 時 2007 年 9 月 21 日(金) 18 時 00 分～20 時 00 分
- B. 場 所 建築学会会議室 #202
- C. 出席者 安藤 啓, 井上勝夫, 岩瀬昭雄, 大鶴 徹, 河井康人, 岸永伸二, 古賀貴士, 坂本慎一,
佐久間哲哉, 田端 淳, 平松友孝, 福地智子, 宮島 徹(赤尾伸一代理), 吉村純一, 安岡博人(敬称略)
欠席者 中澤真司, 濱田幸雄, 吉久光一(敬称略)
- D. 提出資料
- No.4-0 2007 年度 第 3 回 音環境運営委員会議事録(案)(坂本)
- No.4-1 2007 年度第 3 回環境工学本委員会議題(坂本)
- No.4-2 AIJES-S001 学校施設の音環境保全規準・同解説 パブリックコメント対応表(福地)
- No.4-3 AIJES-S001 学校施設の音環境保全規準・同解説(福地)
- No.4-4 日本音響学会アコースティックイメージング・建築音響・騒音振動研究会(吉村)
- E. 審議事項
1. 前回議事録確認(資料No.4-0)
- 承認された.
2. 環境工学本委員会(2007.09.21)報告(資料 No.4-1)(坂本幹事)
- 2008 年度活動計画案・予算原案・講習会等事業企画書を提出する. 事務局締切 11 月 15 日.
→各小委員会主査は上記案を作成し, 大鶴主査へ提出する. 締切:11 月 8 日
 - 2008 年度大会(1)オーガナイズドセッション, (2)ポスターセッション, (3)発表部門細分類, の検討依頼.
(1)は①テーマ, ②主旨 200 字を11月 15 日までに事務局へ.
→各小委員会で検討し, 大鶴主査へ連絡する. 締切:11 月 1 日
 - 実験用教材報告:原稿案締切 10 月末, その後, 各運営委員会で査読.
 - 特別研究委員会設置申請:再募集, 事務局締切 10 月半ば.
→提案があれば大鶴主査へ連絡する. 締切:10 月半ば
 - 大会建築作品発表会:学術推進委員会(10 月 9 日)で来年度の方向性が検討される. 意見を 9 月中に事務局へ.
 - 大賞業績候補:尾島俊雄先生を推薦(2年目)
 - 文化賞業績候補:会員外を推薦. 次回環境工学本委員会(11 月 21 日)までに推薦.
 - 大会の反省:(1)学術講演会の会場がやや狭かった. (2)研究協議会は学会全体の企画に拡大してもよいテーマであった. (3)研究懇談会は隔年より毎年開催の方が周知されるのでは良いのではないか. →議論を継続する.
 - 大会細分類移動のアンケート調査結果:セッション移動は来年も継続する.
→音環境運営委員会としては, 音環境分野の細々分類は OK である.
 - 2008 年度大会 (1)研究協議会, (2)PD について 12 月 20 日最終締切. 10 月中に提案を事務局へ.
→提案があれば大鶴主査へ連絡. 締切:10 月中
 - 建築環境工学用教材(環境編・設備編)改訂:検討 WG を組織する. 各運営委員会から委員を推薦. 10 月末までに事務局へ.
→対象を考慮し, 大学関係者が望ましい. 大鶴主査が候補を絞り, 各委員にメールで連絡, 承認をとる.
 - その他:
→環境工学本委員会議事録は学会 website に掲載.
3. 学校施設の音環境保全規準・同解説について(資料 No.4-2, 3)(福地委員)
- パブリックコメントが2件あった.
 - 本委員会委員のコメントと含め, 「指摘事項」と「対応」をまとめた. 「対応」には, ①音環境運営委員会での要

検討事項, ②採用(コメントをそのまま採用), ③修正(コメントを参考として表記を修正), ④修正なし(原案通り), がある。

- 「推奨値」と「目標値」は定義を明確に表記し, 必ずしも「目標値＝推奨値」ではないことを明記する。
- 重量床衝撃音については, 「標準重量衝撃源として(1)タイヤと(2)ゴムボールの2種類あること, 記載された推奨値が(1)タイヤによるものであること」を明記する。
- 解説(Ⅱ. 解説)に記載された内容は設計指針である。このことを最初に明記する必要がある。(平松委員)
- 上記の修正を施した原稿を各委員にメールで送付する。修正箇所に関して意見がある場合には9月末までに福地委員へ。
- 今後のスケジュール: 音環境運営委員会の了承→外部査読→企画刊行委員会

4. 小委員会・WG 活動報告

固体音小委員会(平松主査)

- 9月14日小委員会開催。ボールによる評価方法をつくるための資料づくりとして聴感評価実験を行なう。第1回の収録を建材試験センターで実施。

集合住宅の遮音性能評価水準検討小委員会(田端委員)

- 7月30日小委員会開催。過去の遮音性能水準を調査する。

建築音響測定法小委員会(宮島委員)

- 8月6日小委員会開催。大会発表の想定質疑を検討。実騒音による短時間外壁遮音性能測定について文献調査を実施。

室内音響小委員会(岸永主査)

- テーマを検討。残響時間測定法, 用語の整理など, 今後, 方向性を絞って議論する。
- 音響指標測定法 WG:G について続けて検討。
- スピーチプライバシーWG:日米の違い, 医療スピーチプライバシーについて調査。
- 音声伝送設計指針作成 WG:指針の文章作成。2008年1月のシンポジウムへ向けて準備中。

音響数値解析小委員会(佐久間主査)

- 9月18日小委員会開催。音場解析における境界条件の取扱いについて検討。次回以降, 情報を公開する方法について審議する。

企画・広報 WG(安藤主査)

- 7月23日 WG 開催。音環境アカデミックスタンダード総目次案, 性能水準の用語定義の検討を実施。
- 早大大隈講堂の見学会を計画中。

5. 他学会の予定

- 日本音響学会建築音響研究会:10/5 宮崎市民プラザ, 10/17 東大生研(騒音・振動研究会, アコースティックイメージング調査研究委員会と共催), 11/30 千葉工大
- 日本音響学会騒音・振動研究会:10/17 東大生研(前出), 11/30 仙台, 12/17 福岡

6. 次回の予定

- 11月21日(水) 17時00分～ 建築会館会議室

2007年度 音環境運営委員会予定

第1回	2007.04.10(火)	(実施)
第2回	2007.05.15(火)	(実施)
第3回	2007.07.23(月)	(実施)
第4回	2007.09.21(金)	(実施)
第5回	2007.11.21(水)	(決定)
第6回	2008.01.25(金)	
第7回	2008.03.27(木)	